



クラスター対策の体制強化！

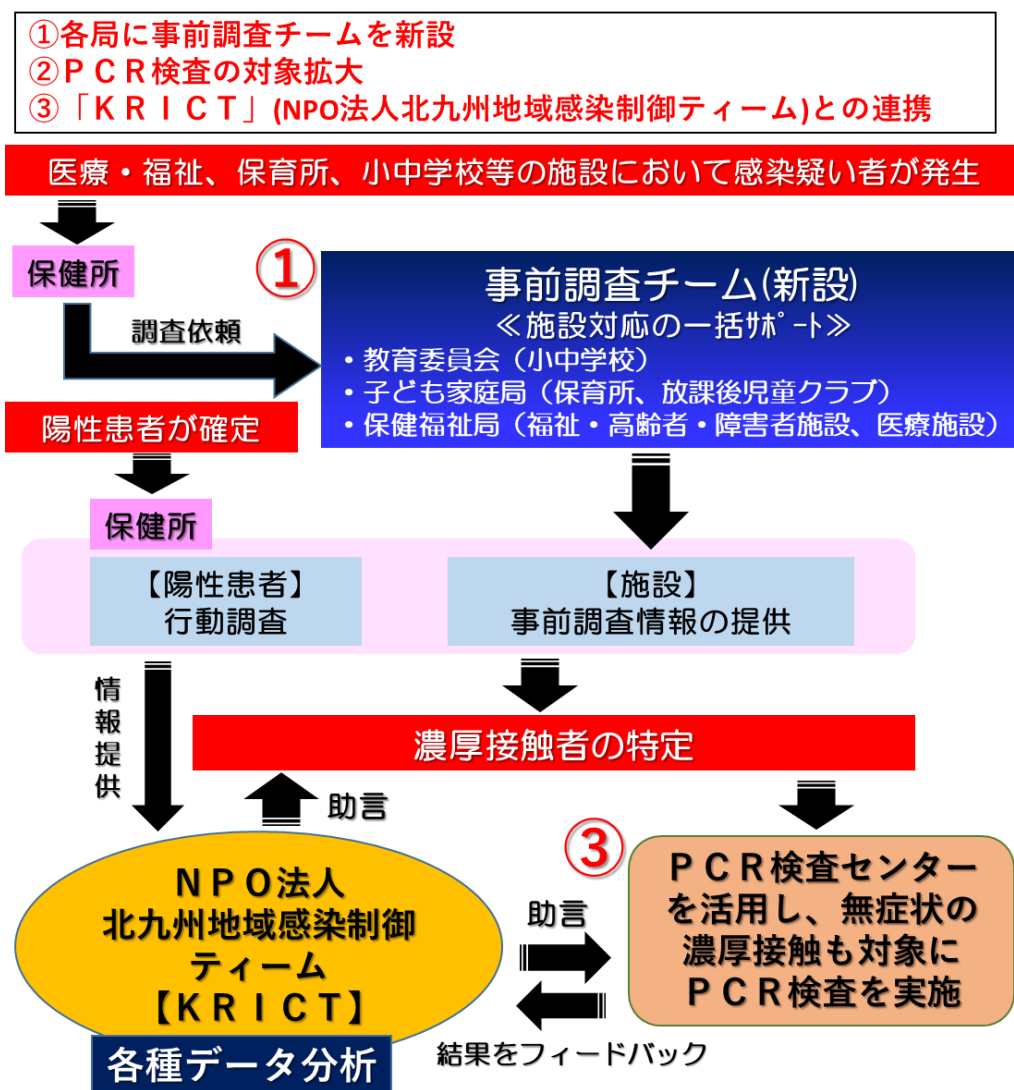
～クラスター連鎖を防ぎ、市民の不安連鎖を解消せよ！～



1. 背景・目的

- 市民の皆様や事業者の方々のご理解・ご協力、最前線の現場で働いておられる医療機関や福祉施設等の関係者の一方ならぬご努力・ご尽力により、今のところ本市での爆発的な感染拡大までは抑止されています。
- このような状況下において、本市が今まさに集中して取り組むべきこと、それは、**クラスター(患者集団)対策**です。
- 感染拡大を最小限に抑え、事態を収束させる、あるいは感染拡大を遅らせるためには、いかに早く、クラスター発生を発見し、濃厚接触者の適切なりストアップなど、早期かつ具体に対策を講ずることができるかが必要となります。
- そこで、本市のクラスター対策に係る体制を強化し、**『クラスター連鎖を防ぎ、市民の不安連鎖を解消する』**というミッションに全力で取り組みます！

2. 取組



① 各局に事前調査チームを新設

市民生活に大きな影響を及ぼす可能性が高い施設において感染疑い者が確認された際には、施設を所管する各局（教育委員会、子ども家庭局、保健福祉局）に新設する「事前調査チーム」が発生段階から事前調査を実施することで、濃厚接触者を早期に特定し、いち早く感染拡大の防止を図ります。

【対象施設】

- 医療機関（歯科・薬局を含む）
- 福祉施設（高齢者施設、障害者施設など）
- 児童福祉施設（保育所、放課後児童クラブ、認可外保育施設など）
- 小中学校（休校期間中は、預かり実施など、児童生徒が登校している学校に限る）

② PCR検査の対象の拡大

学校、保育所、福祉施設で陽性患者が発生した際に、無症状の濃厚接触者もPCR検査センターでの検査を積極的に実施します。

③ 「KRICT」（NPO法人北九州地域感染制御チーム）との連携

感染症の専門家集団「KRICT」が、市の調査やクラスターのデータ分析等を支援します。

【KRICT概要（令和2年3月末現在）】

- 設立：平成16年1月
- 理事長：松本 哲朗（北九州市保健福祉局医務監）
- 会員数：施設会員 122 施設、個人会員 89 人、賛助会員 7 社

3. その他

● 健康観察に電子申請システムを導入

濃厚接触者等の健康観察対象者のうち、希望する方については、保健師からの電話での聞き取りに代えて、システムでの確認を開始します。



【問い合わせ先】

保健福祉局保健衛生課
担当：住野、三堀
Tel：582-2435

令和2年5月8日

北九州市

新型コロナウイルス感染症の状況について

【感染状況】

	全体	直近3週間 (4/16~5/6)
PCR検査件数	2,700件	729件
陽性患者数	76人	5人
陽性率	2.8%	0.7%

【患者等の状況(5月6日時点)】

入院患者数	15人
(うち宿泊療養施設入所者数)	(3人)
病床数	84床
稼働率	14.3%